

小名浜消防署江名分遣所を移転



運用を開始した江名分遣所

消防団詰所を併設 地域の防災拠点に

小名浜消防署江名分遣所が江名字敷倉地内に移転し、四月から運用を開始しました。同分遣所は、東日本大震災の教訓から、耐震性能を有し、多数の消防関係職員

が参集して情報収集などが行えるスペースを確保しています。

施設の概要

また、高台への移転、同敷地内への消防団詰所の併設により、災害対応能力が大幅に向上しています。今後、地域の防災拠点として、複雑多様化する災害に対し、迅速かつ的確な消

防活動を行っていきます。

▼所在地 いわき市江名字敷倉一五六一

▼連絡先 ☎55・7725

▼敷地面積 九一九・一六平方メートル

▼延床面積 三四七・〇七平方メートル

○お問い合わせ
消防本部総務課総務係
☎24・3940

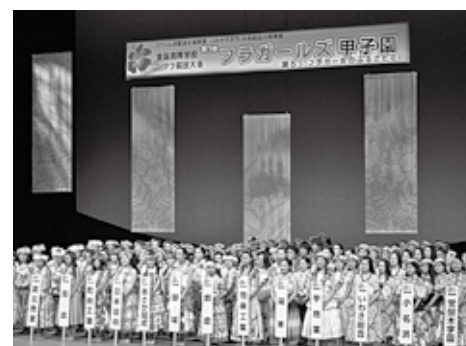


4月8日の落成式にてテープカットを行う関係者

いわき市測量設計業協会との「災害時における被害状況調査の支援に関する協定」を締結 河川課計画係 ☎22-7492

3月26日、いわき市測量設計業協会と同協定を締結しました。

これにより、地震、大雨などの災害発生による、市所管の道路・河川等の公共土木施設などの被害状況調査にかかる協会の支援が必要であると判断された場合に、災害発生時から初期対応の2日程度の期間で、被害状況の調査を開始できる体制が確立されました。



市が文化庁長官表彰受賞

平成25年度の文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）に、本市が選ばれました。同表彰は、文化芸術が持つ創造性を地域振興や観光・産業振興などに横断的に活用し、産官学民の協働により地域の課題解決や活力向上に取り組み、顕著な成果をあげている市区町村に与えられるもので、県内では初めての受賞となります。



おでかけアリオス

代表的な取り組み

今回の受賞では、市内の文化施設がそれぞれの個性を生かした事業を実施するなど、文化芸術による地域の活力向上に取り組んでいることが評価されました。

○アリオスのユニークな自主事業
芸術家を市内の小中学校等へ派遣する「おでかけアリオス」や、市民がアイデアを持ち寄り企画型の事業を生み出す「アリオス・プランツ！」など、地域の住民との連携を重視した数々の事業を展開しています。

○市立美術館の芸術振興
現代美術を積極的に収集

第22回危険業務従事者叙勲

同叙勲は、警察官や消防士など著しく危険性の高い業務に精励した方に贈られるものです。

市内からは、次の3人の方々が瑞宝双光章を受章されました。

＝年齢は4月29日現在。50音順・敬称略＝

- ・黒川明彦(70)＝元警視長 明治団地
- ・佐藤文良(71)＝元福島県警視 郷ヶ丘
- ・高橋力(70)＝元警視正 小川町高萩

し、著名な現代芸術家・蔡國強氏の初の個展を開催するなど有望な現代作家の展覧会を定期的に行い、教育普及活動にも力を入れたプログラムを展開しています。

○フラダンスによる文化芸術都市への転換
常磐ハワイアンセンター（現スパリゾートハワイアンズ）の開業を契機に、フラダンスを新たな地域文化とし、全国高等学校フラ競技大会などの多様なイベントを官民協働により実施しています。

平成25年度消防庁長官表彰

同表彰は、消防業務に長年従事し、その成績が優秀で、他の模範と認められる消防団員などを表彰するものです。

今回は、次の16人の団員の方々が永年勤続功労章を受章されました。

＝支団別（受章時の年齢、所属、階級）・敬称略＝

- ・太田正道(57)＝第1支団分団長 平幕ノ内
- ・石井宮喜(62)＝第2支団副支団長 小名浜
- ・小松朗(57)＝第2支団分団長 小名浜岡小名
- ・吉田慎一郎(58)＝第2支団分団長 小名浜上神白
- ・荒川邦夫(58)＝第2支団副分団長 鹿島町御代

- ・比佐弘泰(58)＝第2支団副分団長 小名浜下神白
- ・永井義信(64)＝第2支団団員 鹿島町御代
- ・小堀信夫(58)＝第3支団副支団長 中岡町
- ・青天目孝一(56)＝第3支団分団長 勿来町窪田
- ・吉田正人(58)＝第4支団分団長 遠野町大平
- ・五十嵐豊(56)＝第4支団副分団長 常磐湯本町
- ・國井利一(66)＝第5支団団員 内郷宮町
- ・高橋一則(62)＝第5支団団員 内郷宮町
- ・平山正則(56)＝第6支団分団長 三和町渡戸
- ・遠藤徹二(58)＝第7支団分団長 久之浜町久之浜
- ・松崎勇(59)＝第7支団団員 四倉町